



落一地域センターだより No.80

# こんにちわ 落合

令和2年 冬号



OCHIAI 編集・発行\*落合第一地域センター管理運営委員会広報部 ☎161-0033 新宿区下落合4-6-7 ☎3954-1611

## 地域センター

with コロナ

### 〜コロナ禍の2020年〜



あまびえよ

コロナウイルス

退治せよ

(T・U)

コロナで明けてコロナで暮れようとしていた一年でした。新型コロナウイルスによる感染症拡大は、センター祭り中止だけでなく各種イベントや学校行事、町会行事などが中止か延期、また、個人的な会合や旅行まで、自粛が呼びかけられてきました。今年最大のイベント、東京オリンピックは来年に延期になり、12月現在、欧米をはじめ、日本列島にも第三波が襲ってきています。

\*\*\* \*\*

昨年12月、中国の武漢から発生した新型コロナウイルスによる肺炎が瞬く間に世界中に拡大しました。世界保健機構(WHO)はパンデミック(世界的流行)と認定しました。

\*\*\* \*\*

人類の歴史は戦争と感染症との闘いの歴史であるといわれています。特に感染症の場合は目に見えない敵だけに、人々の恐怖は今も昔も変わりません。感染症のため、いくつかの文明が滅亡しました。

#### ☆感染症の歴史

14世紀 ペスト(黒死病)世界大流行、推定一億人が死亡

16世紀 インカ文明滅亡

わずか二百人のスペイン軍の侵略によって感染症が拡大

1918〜1919年 スペイン風邪の世界的流行。死者二千万人〜五千万人(日本三十八万人)

1980年 天然痘の撲滅を宣言(世界保健機関)

2002〜2003年 SARS サーズ(重症急性呼吸器症候群)が香港を中心に流行 死者約800人

2009年 新型インフルエンザの世界的流行

2012年 MARS マーズ(中東呼吸器症候群)の初めての事例

2014年 エボラ出血熱が流行

西アフリカ、死者一万人以上

2020年 新型コロナウイルスの世界的流行

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用できなかった地域センターも感染予防対策をしながら、利用再開となりました。大きく変わったところは利用定員が半分に、マスクの着用、換気を行う、ソーシャルディスタンスの確保に心がけるがあります。まだまだ使いにくく、不便なところもあります。が、感染予防を心がけながら利用していただければと思います。



\*\*\* \*\*

人間に感染するウイルスは、元々野生動物(コウモリ、ネズミなど)に寄生している菌から来ており、自然破壊により野生動物との距離が縮まり交通機関の発達により世界的流行となりました。

現在、開発中のワクチンが私たちの手に入るには、まだまだ時間がかかりそうです。それまでは自衛として、三密(密閉・密集・密接)を避け、マスクを着用し、手洗い、アルコール消毒に務めましょう。

## ◆運営委員会だより◆

地域センター管理運営委員会の催しは、地域の掲示板等でもお知らせいたします。

問い合わせ 地域センター事務局

☎(3954) 1611

2020年も、残り少なくなってきました。

今年は「新型コロナウイルス」に翻弄された1年だったように思います。

毎年地域の皆様が楽しみにしてくださっている、地域センター最大の催し「落一地域センターまつりピバ！おちあい」が3月14日に予定されていましたが中止となり、3月28日には自粛要請に入り、4月6日～7月14日まで貸館業務停止となりました。

15日の再開以後も3密を避けるため、利用人数を定員の50%にしなくてはならないなどの制限もあり、ご利用いただいている皆様には大変ご不便をお掛けしておりますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。



地域センターには、総務部・企画部・広報部の三つの部があります。

総務部は、利用団体との意見交換会・研修会を行っておりますが、意見交換会は今年度アンケートにてご意見を頂き、皆様のご要望に沿うべく会議を行っております。



企画部は、大好評のバス見学会・カルチャー教室（染色教室・夏休みこども教室など）新春センター寄席・新春コンサートなどを行っております。

現在企画部委員全員で何とか3密を避けた企画を今年度中にと考えておりますが、今後の情勢により判断したいと考えております。



広報部は、夏号・冬号・春号の年3回、広報誌「こんにちわおちあい」を発行し、ご覧いただいているかと思いますが夏号は中止となり、今回冬号を発行することとなりました。ご一読いただきご意見・ご感想などを頂けましたら幸いです。

師走となり何かと慌ただしく感じる昨今ですが、自分や大切な人を守るため感染防止に努め、なるべく早く皆様方と楽しい時間を過ごせることを願っております。

## ◆年末は火災多発期



～新宿消防署よりお知らせ～  
気温が下がり、空気も乾燥する季節になりました。12月から2月までの間は火災多発期と言われ、火災の発生する危険が増加する時期です。中井地区では、今年7月、8月に連続して、住宅火災により2名の方がお亡くなりになっております。みなさんのお宅の防火対策は万全ですか？各居室、台所等に設置されている住宅用火災警報器の鳴動テストをしてみましよう・・・鳴りましたか？

火災は早期発見、消火することが被害の軽減に繋がります。もし、住宅用火災警報器が火災発生時に機器の劣化等により鳴らなかつたら、発見が遅れて被害が拡大してしまいます。そのため、設置から10年以上経過した住宅用火災警報器は、本体交換を推奨しています。設置した時期が不明な場合は、本体に記載されている製造年等を確認しましょう。

東京都においては、平成22年に火災予防条例により、既存の建物にも住宅用火災警報器の設置が義務化されてから10年が経過しました。この時期を捉えて、早速、住宅用火災警

報器の本体を確認して、設置から10年以上経過していたら交換しましょう。詳細については、最寄りの消防署へお問い合わせください。

**点検の方法は簡単！**

①

ボタンを押す！

②

ひもを引く！

または

①

設置年月で確認！

側面に記入した年月を確認しましょう

②

製造年で確認！

中面に貼られている銘板で確認しましょう

または

※平成22年以降に製造された製品であれば、テスト時にボタンを押す、又はひもを引くと音が鳴り、自動的に停止します。平成22年より前の製品だと、自動的に停止しない場合がありますので、詳細は取扱説明書をご覧ください。

（お問い合わせ先）

新宿消防署 警防課 地域防災担当

電話 03-3371-0119

## 地域のお知らせ

地域の催しは、ポスター等でもお知らせします。気軽に参加ください。

### 【町内夜警】

落合第一地区町会連合会の8町会では、地域の安全と安心を守るため、今年も歳末夜警を実施致します。詳しくは、各町会の掲示板にてお知らせ致します。皆様のご協力・ご参加をお待ちしております。



#### ◆ 中落合二丁目みどり町会

12月24日(木)～28日(月)

午後8時～

#### ◆ 中落合二丁目町会

12月21日(月)～25日(金)

#### ◆ 中落合三丁目やよい町会

12月23日(水)～28日(月)

午後8時～

#### ◆ 下落合四丁目町会

12月22日(火)～28日(月)

午後9時～

#### ◆ 下落合東町会

12月27日(日)～30日(水)

午後9時～

#### ◆ 下落合町会知久会

12月28日(月)～30日(水)

午後9時～

#### ◆ 上落合東部町会

12月25日(金)～28日(月)

午後8時～

#### ◇ 高田馬場住宅コム

12月26日(土)

午後8時～

※地域の皆様にはお騒がせを致しますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。



◆地域の皆様の安全と安心を守るため活動されている、新宿消防団第11分団の歳末夜警は左記の日時で行われます。

地域の皆様にはご理解・ご協力をお願いいたします。

12月29日(火)～30日(水)

午後8時～

### 歳末助け合い運動

下落合東町会では恒例となっており「歳末助け合い運動」を、目白通りピーコック前にて行います。

#### ◆ 12月19日(土)～22日(火)

午前11時～午後1時  
午後5時～午後7時

※地域の皆様には、ご協力をお願い申し上げます。



## 歳時記

「冬来たりなば春遠からじ」

日本に古くからあることわざか中国の漢詩のように思われがちだが、実はイギリスの詩人シェリーの詩集「西風の寄せる歌」の末文の一節を和訳したものである。

If Winter comes, can Spring be far behind ?

直訳すると「冬が来るなら春が遙か遠いことがありえようか」これが寒い冬が来れば、暖かい春はじきにやって来る。更に漢文体に置き換えられて先頭の「冬来たり～」になったようである。翻訳者なのか、シェリーの研究者の手によるものなのか定かではない。厳しい冬を乗り越えて春を迎えたいのは、動・植物だけではなく人間も同じである。

この詩は人生訓の一つと考えられている。「今ある苦勞を乗り越えれば、明るい未来(希望)がある」まさしく名訳である。

■ いまからでもまにあう！  
SDGs（エス・ディー・ジーズ）

「わたしたちにできること」

みなさんは、SDGs（エス・ディー・ジーズ）ということばをご存知ですか？ニュースや学校の授業で聞いたことがある！カラフルなSDGシンボルマークのピンバッジを着けている人を見た！という方もいらっしゃるかと思います。SDGsとは、Sustainable Development Goalsの頭文字を合わせたもので（最後の小文字のsはGoalsのs）、日本語で持続可能な開発目標、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された世界の目標のことです。2030年までに社会・経済・環境の分野で17の目標達成を目指しています。

今、わたしたちが暮らす地球上では様々な問題が起きています。貧困・飢餓・気候変動・ごみ・健康・エネルギー・教育・不平等…。このままだと、わたしたちの生活はおろか、この地球を未来につなげていくことができなくなってしまいます。そこで、わたしたちの代表が何年もかけて話し合い、「地球を守るため、地球上の生きものを守るため、わたしたちがよりよく生きていけるため」に17の目標と169のターゲット（達成基準）、200以上の指標を掲げ、

世界中のみんなできり組むことを考えました。

次に17の目標をアイコンで示します。これらの目標を見ると、日本ではすでに達成しているのではないかと



など思えるものがあるかもしれません。169のターゲットを読んでみると他人事ではないことがわかります。しかも、それぞれの問題はお互いに複雑に絡み合っているのです、す

べてを網羅しないと目標を達成することはできません。

では、わたしたちは具体的に何をしたいのでしょうか？ 17のアイコンに照らし合わせてみると：

★たとえば、わたしにできること

- ・ごみを減らす ↓ 7 12 13 14
- ・水の出しっぱなしをやめる ↓ 6 7
- ・食べ残しをしない ↓ 2 3 12
- ・物を大切に扱う ↓ 8 12
- ・募金をする ↓ 1 2 4 15
- ・まわりの人と助け合う ↓ 10 11 17

★たとえば、落合第一地域センターや町会等で行っていることではどうでしょうか？

- ・センターまつり ↓ 3 4 11
- ・新春コンサート ↓ 4 11
- ・ごみゼロ運動 ↓ 7 11 12 13 14 17
- ・防災訓練 ↓ 3 11 13
- ・資源の集団回収 ↓ 7 11 12
- ・町連大運動会 ↓ 3 11

★たとえば、皆さんが普段やっていることではどうでしょうか？

一つの行動や取り組みがいくつもの目標につながっていて、知らず知らずのうちにSDGsに貢献しています。しかし、今やっていることを各目標に紐づけるだけで安心してはいけません。行動や地域の活動をこれからも続けていき、さらに発展させていくことが必要です。また、新しいアイデアを行動にうつしていく

ことが大事です。

では、行動し、続けていく秘訣はあるのでしょうか。ちょっと考えてみました。

- ◆現状を知る（動機づけ）
- ◆世界の問題を自分に引き寄せて考えてみる
- ◆自分の得意なことや興味のあることからやってみる
- ◆楽しんで取り組む
- ◆皆と考え一緒に行動する

社会はわたしたちがつくるもの。

だから、わたしたち一人ひとりが行動することに意義があります。国や地域を超えて、共通の目指す世界に向けて行動し、世の中を変えていく。SDGsの「誰ひとり取り残さない」という基本理念は、「あなたもわたしも世界の一員」であることを再認識させてくれます。わたしたちの手で、みんなが幸せでいられる地球をつくっていきましょう。



ピンバッジ

△参考▽

- ・国連広報センターウェブサイト
- ・外務省ウェブサイト